

スーパー・ペダリスト・シリーズ 第3回
～低音楽器のスペシャリストを招聘～



©早見仁志

コントラバス/幣隆太朗**
Contrabass / Ryutaro HEI



©ai ueda

指揮/山下一史
Conductor / Kazufumi YAMASHITA

「縁の下の力持ち」のバス弾きが今宵の主演!!

コントラバス/文屋充徳*
Contrabass / Michinori BUNYA

4.11 2023
(火)

April 11th, 2023 Tuesday 6:45pm

開演 18:45 開場 18:00

三井住友海上しらかわホール

地下鉄(東山線・鶴舞線)「伏見駅」下車 5番出口徒歩3分

シュペルガー/コントラバス協奏曲第15番 ニ長調*
Johannes Matthias Sperger/ Doublebass Concerto No.15 in D Major

ロータ/コントラバスと管弦楽のためのデイヴェルティメント**
Nino Rota/Divertimento concertante for Doublebass and Orchestra

メンデルスゾーン/交響曲第4番イ長調 作品90, MWV N 16「イタリア」
Felix Mendelssohn Bartholdy/ Symphony No. 4 in A Major, Op. 90, MWV N16, "Italian"

1月27日(金)発売 全席指定

SS席/7,000円 S席/5,500円 A席/3,500円
B席/2,500円 U25席 (25歳以下)/1,000円

※U25席はACO公式ホームページ、愛知芸術文化センタープレイガイド、しらかわホールチケットセンターのみ取り扱い。
※未就学のお子様のご入場はご遠慮下さい。

公式HPでの
お申込み



プレイガイド

◎愛知芸術文化センタープレイガイド TEL:052-972-0430
◎アイ・チケット TEL:0570-00-5310 clanago.com/i-ticket
◎しらかわホールチケットセンター TEL:052-222-7117
◎チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード:235-303

※ヨモギヤ楽器本店、中善楽器ブレーメン、名古屋音楽学校、名古屋音楽大学Doでも取り扱っております。

[コントラバス] 文屋充徳 Contrabass Michinori BUNYA

北海道旭川生まれ。コントラバスを林雄一、長汐寿治両氏に師事。東京藝術大学にて今村精一、江口朝彦の両氏に師事。平行してチェロのレーヌ・ブラショール氏、指揮をエルヴィン・ポルン氏に学び、その後の音楽人生に大きな影響を受けた。ドイツ・ヴェルツブルク音楽大学にてギンター・クラウス氏に師事。イギリスではミュージックカレッジプライス、ローマではブッキコンクール1位、ミュンヘンコンクールでは2位(1位なし)を受賞。渡独5年後、若干29歳にしてヴェルツブルク音楽大学教授に就任。これまでに同大学、エッセン芸術大学にて教鞭をとり、130人を越えるコントラバス奏者を世界に送り出している。2019年の夏に"シュペルガーの室内楽"(J.M.Sperger Kammermusik für Kontrabass)という、ヴィオラ、チェンバロ、ハンマークラヴィアとの二重奏のCDが発売された。



[コントラバス] 幣隆太郎 Contrabass Ryutarō HEI

10歳より、故・奥田一夫に手ほどきを受ける。1999年、兵庫県立西宮高校音楽科卒業、同年、東京藝術大学入学。2001年、渡独。ドイツ・ヴェルツブルク音楽大学入学。DAAD外国人のための学内コンクールで1位となり、奨学金を授与される。2005年、同大学ディプロマ試験を最高得点で卒業、同大学院マスターコースに入学。同年ベルリン国立歌劇場オーケストラ(シュターツカペレ・ベルリン)のアカデミー試験に合格、首席指揮者ダニエル・バレンボイム指揮のもと、オーケストラの一員として研鑽を積む。2007年、SWR交響楽団(旧シュトゥットガルト放送交響楽団)に入団。現在、同楽団団員として、ドイツ国内外でのソロサイタル、音楽祭への参加、小菅優、樫本大進、庄司紗矢香、フィリップ・トゥーンドゥル、セバスティアン・マンツ、セバスティアン・ジャコーなど、世界を代表するソリストとの室内楽の共演等、精力的に活動している。日本では毎夏、日本帰国リサイタルツアーを開催。2010年よりサイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとして公演に参加。文屋充徳、奥田一夫、河原泰則、永島義男、南出信一、村上満志、山本修、マティアス・ヴィンクラーの各氏に師事。2012年より上野製菓株式会社より1670年製コントラバスの名器「ブゼット」を貸与されている。2014年より、バイオリン白井圭、チェロ横坂源と共に、ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ結成。2016年、兵庫県芸術奨励賞、神戸市文化奨励賞、同時受賞。2017年、関西クリエイティブクラブ賞受賞。



[指揮] 山下一史 Conductor Kazufumi YAMASHITA

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年12月からカラヤンの亡くなるまで彼のアシスタントを務めた。その後ヘルシンボリ交響楽団首席客演指揮者を務めた。日本国内では1988年NHK交響楽団を指揮してデビュー、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者を歴任。また、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者を務め、新国立劇場での松村禎三「沈黙」公演は、東京の音楽界にも衝撃を与えた。現在同団名誉指揮者。2006年4月からは仙台フィルハーモニー管弦楽団より指揮者として迎えられ、CD制作など積極的な活動を展開、2009年4月から2012年3月まで同団の正指揮者。現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。東京藝術大学音楽学部指揮科教授として後進の育成にも心血を注ぐ。千葉交響楽団音楽監督、愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者。



ACO 愛知室内オーケストラ
Aichi Chamber Orchestra

2002年、愛知県立芸術大学出身の若手演奏家を中心として発足。定期演奏会をはじめ、医療法人葵鐘会(愛称:ベルネット)の支援・プロデュースによる特別演奏会など積極的な活動をしている。また、親子向けのファミリーコンサートも2005年より毎年開催し、趣向を凝らした企画・演出に定評がある。2015年から6年間に亘り新田ユリを常任指揮者に迎え、2019年7月、フィンランドのリエクサ(リエクサ・プラスウィーク)とヘルシンキの2都市で公演をおこなう。2020年、<モーツァルト・グラン・バルティータ&ディヴェルティメント第2番>をCDリリースし、レコード芸術誌「特選盤」に選出される。2021年7月、川本嘉子(ヴィオラ)を弦楽器アドバイザーに迎え、創立20周年となる2022年4月、山下一史が初代音楽監督に就任。

新型コロナウイルス対策について ご来場予定のお客様へ

公益社団法人全国公立文化施設協会、クラシック音楽事業協会のガイドラインに基づき公演を実施いたします。

今後の状況により直前にプログラムの変更や公演中止の可能性がございます。

最新の情報は当団公式ホームページをご覧ください。



産婦人科グループ



医療法人 葵鐘会

医療法人葵鐘会(愛称:ベルネット)は、愛知県・岐阜県・静岡県・大阪府・千葉県に展開する産婦人科グループです。地域の特性に応じた各産科医療施設を整備し、「ベルネット」として連携を図ることで、地域に根差した高いレベルの医療サービスを提供しています。



L'image
wine & dining

ワイン&ダイニングリマージュ

名古屋市中区丸の内3-22-24
名古屋桜通ビル1F

TEL 052-971-7772

予約受付/10:30~22:00 定休日/日曜日・祝日



中国料理

瑞瓏

ZUIROU

名古屋市中区錦2丁目7-7
プラウドタワー名古屋錦1F

予約専用 080-3634-3438

